



# 平成17年度予算を可決

一般会計、特別会計の総額は  
8百73億7千7百15万円に

## 6月定例会

6月定例会は6月7日から29日まで開催されました。小平市非核平和都市宣言、小平市住民基本台帳の一部の写しの閲覧に関する条例など19件の市長提出議案、及び地方議会制度の充実強化に関する意見書など2件の議員提出議案を原案のとおり可決しました。請願は2件を採択、5件を閉会中の継続審査としました。また、市政全般にわたって、19人の議員から45件の一般質問がありました。

## 4月、5月臨時会を開会

4月臨時会は26日に開会し、1件の市長専決処分を承認し、空席となっていた助役・収入役の選任議案に同意しました。  
また、5月臨時会は20日から27日まで開催されました。平成17年度はすべての予算が4月から2か月間の暫定予算となっていたため、本臨時会で新市長から新たな予算が提案されました。その後、予算特別委員会に付託され、延べ4日間の審査を経て最終日にそれぞれ原案が可決されました。

監査委員に  
加藤俊彦議員 同意

## 議長に石塚信治議員 副議長に住田景子議員 員を選出

6月定例会初日に、宮崎照夫議長、桜田誠副議長から同職の辞職願の提出があり、本会議で許可されました。

その後、後任の議長、副議長の選挙を行い、議長に石塚信治議員(政和会・4期)、副議長には住田景子議員(緑・ネット・5期)を選出しました。

## 常任委員会等委員を 改選

6月に任期満了を迎えた各常任委員会(総務・生活文教・厚生・建設)委員を選任し、委員長・副委員長を互選しました。また、特別委員会(都市基盤整備調査・産業活性化調査・第三次長期総合計画基本構想)は、委員の一部辞任に伴う選任があり、委員長・副委員長を互選しました。そのほか、一部事務組合議会議員、協議会等委員等を選出しました。(2・3面参照)

## 議員退職

高橋敦議員(フォーラム小平)、高橋信博議員(政和会)が、6月24日付で、公職選挙法第90条の規定により退職しました。これにより、市議会議員の現員数は26人(定数28人)となりました。

## 小平市非核都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかし、核軍備拡大競争及び通常兵器の軍備拡大競争は一段と激化し、世界各地で武力紛争が絶え間なく続き核戦争の脅威が迫っている。

我が国は、世界唯一の核被爆国であることにかんがみ、小平市議会は、すべての国の核兵器に反対し非核三原則を堅持し、人類永遠の平和のため努力することを決意し非核都市を宣言する。

昭和58年3月3日  
小平市議会

この宣言は、昭和58年3月定例会において議員提案され、全会一致で決議されたものです。



「基本構想の実現へ」  
議長 石塚信治

6月定例会初日に各会派から御推挙をいただき、市議会に就任いたしました。その責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いがございません。

近年、市の財政状況は厳しく、地方自治体を取り巻く環境も大きく変化してまいりました。地方分権の推進、国の三位一体の改革、高齢社会の進展など、数多くの課題がございます。市民のだれもが安心して暮らすことができ、環境に配慮し、高齢者が生きがいを感じることができ、働く人がほっとできるまち、さらには子どもたちが

## 就任にあたって



「ぜひ一度議会へ」  
副議長 住田景子

議会は、皆さんにとって遠くにあるものかもしれませんが、思いのほか身近な問題を議題にしています。交差点に信号機をつけて、学童クラブに入れるだろうか、近くの桜の木を切らないでなど議員に寄せられた声は一般質問という形で提案されたりします。条例などの審議は一見ややこしいですが、委員会での議論は本会議場では見られない、さまざま意見が自由に交わされ、傍聴してみたら意外とおもしろいとも言われます。私たち議員は、市内のあちこちで市民の皆さんの声を聞き、問題解決や政策をつくる

ための活動もしています。議会は市長や行政のチェック機能とされていますから、皆さんの税金が適切に、またより効果的に使われるよう考えています。副議長という立場で何ができるか手探りですが、市民の皆さんから見ても納税がいくような審議をしていきます。そして、議会ってこんなに身近なんだと思っていたら、なんと、もっともっとわかりやすい言葉で、興味をもっていたら、どう行動していきたいか、どうか皆さんも一度、気楽に議会のそばに来てください。



ヤッター！トウモロコシが、こんなにたくさん！（生活科の授業・学童農園で）